



「やる気いっぱい えがおいっぱい 大正小」 5月号

大正だより

令和6年4月30日
横浜市立大正小学校

電話:045-851-0755 FAX:045-851-2093

ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/taisho/>

ちようも来て ドッジボールに たわむれん

校長 神野 滋

学校が始まって、1か月がたちました。中休みには、すっかり親しくなった友達と元気にドッジボールをしています。そこへチョウチョウも飛んできて、ひらひらとボールをすりぬけていきます。まるで子どもたちといっしょに遊んでいるようです。



やがて、中休みが終わり、授業が始まると、それぞれの教室で、熱心に学ぶ子どもたちの様子が見られます。1年生の教室からは、オルガンの音色とともに、早くも、校歌を歌う大きな歌声が聞こえてきました。2年生の教室では、算数で、「みんながやりたい遊びをパッと見てわかるようにするには、どうすればいいだろう。」という課題に取り組み、表やグラフについて学習していました。3年生は、理科の観察をするために、タブレットをもって中庭に行き、草花を写真に撮って、観察していました。「この花は、黄色というより山吹色だね。」と、観察したことをカードに入力して、友達と話し合っていました。4年生の教室では、国語で先生の朗読を聞きながら物語を読み、不思議に思ったことをノートに書いていました。5年生の教室では、算数で小数について学習していました。先生が「では、さっそく校内を回って、小数を見つけてきてください。」と課題を出すと、子どもたちは、タブレットをもって、はりきって教室を飛び出していきました。6年生の教室では、国語で2人の登場人物が考えていることや心情について、それぞれ読み取って、書き分けていました。

どの学年の子どもたちも、自分から学習に取り組み、自分はどうか考えるかを大切にして、それをもとに友達と話し合う様子が見られました。大正小学校は、この「自分で考える力」と「互いに学び合う力」を大切に考えて、これからの教育活動を行っていきたいと思います。